

# 平成28(2016)年度 ひろしま平和発信演習において被爆体験講話を行いました

平成28年6月29日(水)に広島大学歯学部 第1講義室において、岡田恵美子さんによる被爆体験講話を行いました。本年も昨年に続き貴重な被爆体験講話をお話しして頂きました。本科目を登録している学生44人中42人が出席し講話を聞きました。



特別スピーカーの岡田恵美子さん  
2015年ノーベル平和賞授賞式招待者

ひろしま平和発信演習の課題の1つとして、「ヒロシマの実相を次世代に継承する方法の模索」があります。原爆投下後71年を迎え、当時の状況や経験を証言できる方が徐々に少なくなり、被爆の実相を次世代に継承することが、課題となっています。

そこで、学生たちに課題解決へのアプローチを通じ、実際に様々なヒロシマの実物資料を見、専門家の方の講義を受けて**学び**、被爆体験者からのお話を**聞く**ことにより、その事実を学生が**共感**し、『原爆が投下されたヒロシマ』と『学びの拠点としての広島』を**自らの言葉で発信**できるよう、貴重な被爆体験を直接伺う機会を得ました。



特別スピーカーとして紹介されている岡田恵美子さんの様子

『軍国主義教育に対する怒り。赤紙(召集令状)が来ると出征を喜び、お祝いをして送り出さなければいけなかった母親。憲兵の前で泣くという感情をだすと逮捕される時代。子供ながら「おかしいなと思っていた」是非、賢い大人になってほしい。』というメッセージ、『核弾頭は未だ地球上に15,700発もある。子供や一般市民を犠牲にするべきではない、核廃絶に向けて若い人の知恵を是非貸してほしい。』との言葉で、講話を締めくくられました。

今も世界中を飛び回りながら、ヒロシマの実相を伝える活動をされている岡田さんならではの被爆証言でした。



被爆体験講話をされている岡田恵美子さんの様子